

[マニュアル](#)に戻る。

## 多倍長整数

- 長い桁数の整数を扱うオブジェクトです。
- 文字列(または数値)に「大きい整数にする」を送り生成します。
- 数値(内部は倍精度実数)から生成する場合は、初期値が数値の有効数字に制限されます。そのため、10桁以上の場合は数値でなく文字列から生成してください。
  - (例) 文字列から多倍長整数を生成します。

```
x"1000000"大きい整数にする。
```

- 数値演算子「+, -, \*, /, %」は、内部的にそれぞれ`add`, `sub`, `mul`, `div`, `mod`という命令に変換されて扱われます。論理演算子「==, !=, >, >=, <, <=」も、内部的にそれぞれ`eq`, `ne`, `gt`, `ge`, `lt`, `le`という命令に変換されて扱われます。
- +, -, \*, /, %: 四則演算 \* (例) 「3 \* 40」を計算し「120」を表示します `x3大きい整数にする。ラベルx40作る。` \* 足す`add`, 引く`sub`, 掛ける`mul`, 割る`div`: 四則演算。命令として使います。 \* (例) 「3 \* 40」を計算し「120」を表示します `x3大きい整数にする。ラベルx40掛ける)作る。` \* %: 余り \* (例) 8を3で割った余りを計算し「2」を表示します `x8大きい整数にする。ラベルx3余り)作る。` \* 余り`mod`: 余り。命令として使います。 \* (例) 8を3で割った余りを計算し「2」を表示します `x8大きい整数にする。ラベルx3余り)作る。` \* ==, !=, >, >=, <, <=: 比較演算。両辺が多倍長整数または多倍長整数に変換できる文字列の場合は、多倍長整数として比較されます。 \* (例) 「4 > 3」を計算し「[true]」を表示します `x4大きい整数にする y3大きい整数にする。ラベルx y作る。` \* `pow`: べき乗。「2の3乗」は「`pow2,3`」ではなく「`23pow`」と書くことに注意してください。 \* (例) 「2^70」を計算します `x2大きい整数にする。ラベルx70pow作る。` \* `abs`: 絶対値 \* (例) 「|-3|」を計算し「3」を表示します `x3大きい整数にする。ラベルabsx作る。` \* コード文字: 指定された文字コードUTF-16の文字を返します。 \* (例) 文字列「A」を表示します `x0x41大きい整数にする。ラベルx作る。` \* (例) 文字列「あ」を表示します `x0x3042大きい整数にする。ラベルx作る。`

From:

<https://dolittle.eplang.jp/> - プログラミング言語「ドリトル」

Permanent link:

[https://dolittle.eplang.jp/ref\\_bignum?rev=1515028626](https://dolittle.eplang.jp/ref_bignum?rev=1515028626)

Last update: 2018/01/04 10:17

